

神奈川大学 社会連携センター

本の架け橋プロジェクト 御中

絵本寄贈のお礼とご報告

はじめまして。**JICA** 海外協力隊 **2023** 年度 **4** 次隊ウガンダ派遣、コミュニティ開発隊員の平沼里穂子と申します。この度は、シャインズ・チルドレンズ・ファンデーションへの絵本の寄贈、誠にありがとうございました。寄贈いただいた絵本を、無事小学校で学ぶ児童のもとへと届けることができました。寄贈式では、子どもたちに絵本を1冊ずつ手渡した後、図書館へ蔵書しました。絵本を手にとった子どもたちは、大勢で輪になって1冊1冊を囲み、ワクワクした様子で絵本の世界に没入していました。日本語から英語へ翻訳を行い、児童が自分たちで読めるようにしましたが、日本語はあえて隠さずに英語・日本語どちらでも読むことができるよう工夫しました。日本語を見たことがない子どもたちは、初めて触れる日本語アルファベット（ひらがなやカタカナ）を見て、「これはなんて読むの?」「どんな意味なの?」と日本語に興味津々でした。

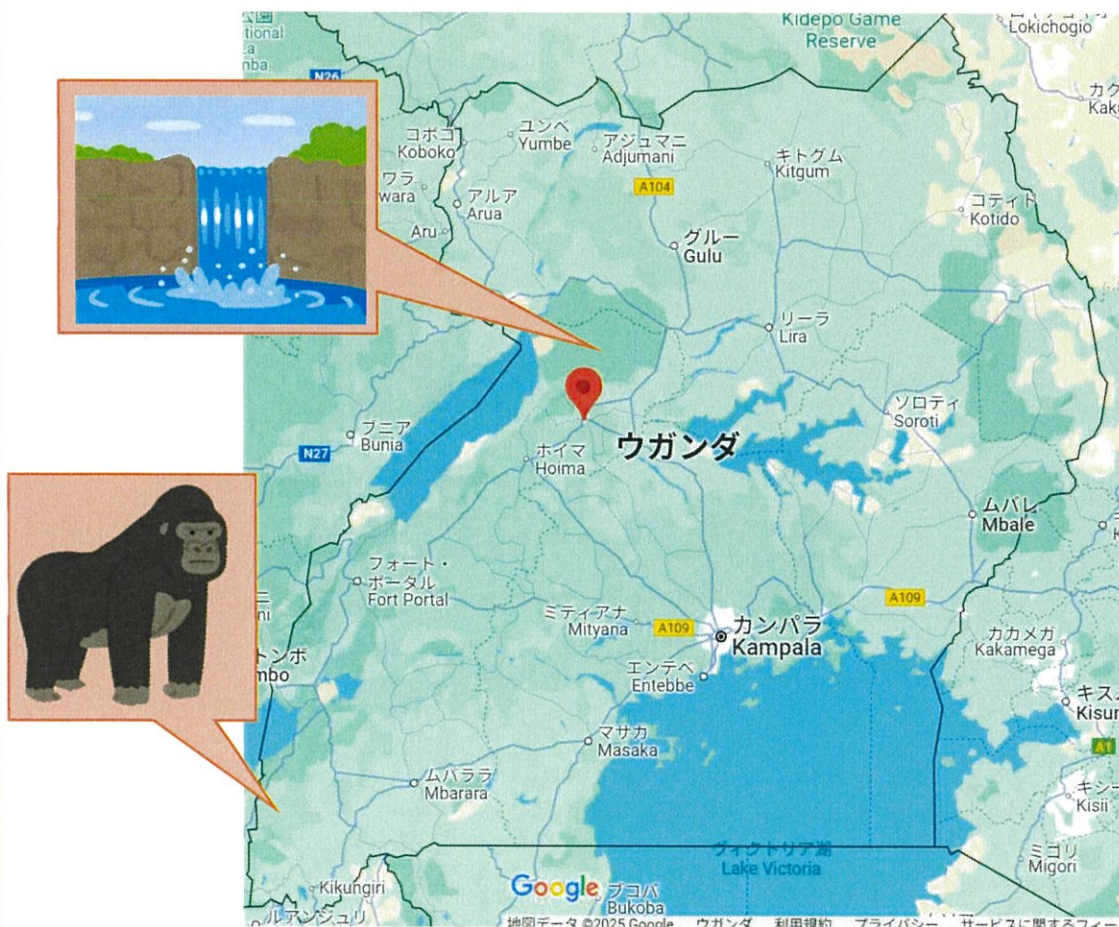
寄贈先のシャインズ・チルドレンズ・ファンデーション小学校は、私が活動している **NGO** 「シャインズ・チルドレンズ・ファンデーション」が運営する私立小学校です。市内から離れている地域に住んでいるため学校までの通学距離が長い、あるいは家庭の経済的事情から学費が支払えず学校に通うことができない子どもたちとその家族のために、公立校と同等または比較的安く学費が設定されている“コミュニティスクール”という立ち位置で、幼稚園・小学校の教育を提供しています。**JICA** 海外協力隊以外にも、英国や米国、ヨーロッパ各国から短期ボランティアを受け入れており、他の学校よりも国際文化に触れる機会が多いという特徴があります。また、体育や図工、課外活動などの情操教育を重要視していることから、その活動の一つとして図書館蔵書の強化を目標に掲げています。今回の「世界の笑顔のためにプロジェクト」において、日本語の絵本を寄付していただき、蔵書の強化のみならず日本の言語や文化に触れる機会を与えることができました。重ねてお礼申し上げます。



ウガンダ共和国とマシンディ県について

ウガンダ共和国はアフリカ東部に位置し、アフリカ大陸最大のヴィクトリア湖に面する赤道直下の内陸国です。首都はカンパラ、面積は **24.1** 万平方キロメートルで本州とほぼ同じくらいの大きさを有し、人口 **4,590** 万人の中にはバガンダ族、ランゴ族、アチョリ族など55以上の民族が暮らしています。多民族国家ではありますが、それぞれの民族語の他に英語やスワヒリ語が公用語として設定され、お互いにコミュニケーションを取ることができます。

1年を通して比較的過ごしやすい気候で、雨季と乾季が交互にやってきます。その気候がもたらす豊かな自然は、国の観光産業を非常に盛り上げ、国内外から訪れる多くの観光客を魅了し続けています。特に、絶滅危惧種のマウンテンゴリラは、ウガンダを含むごく少数の国と地域にしか生息しておらず、野生のマウンテンゴリラに会うためにウガンダを選ぶ観光客は少なくありません。

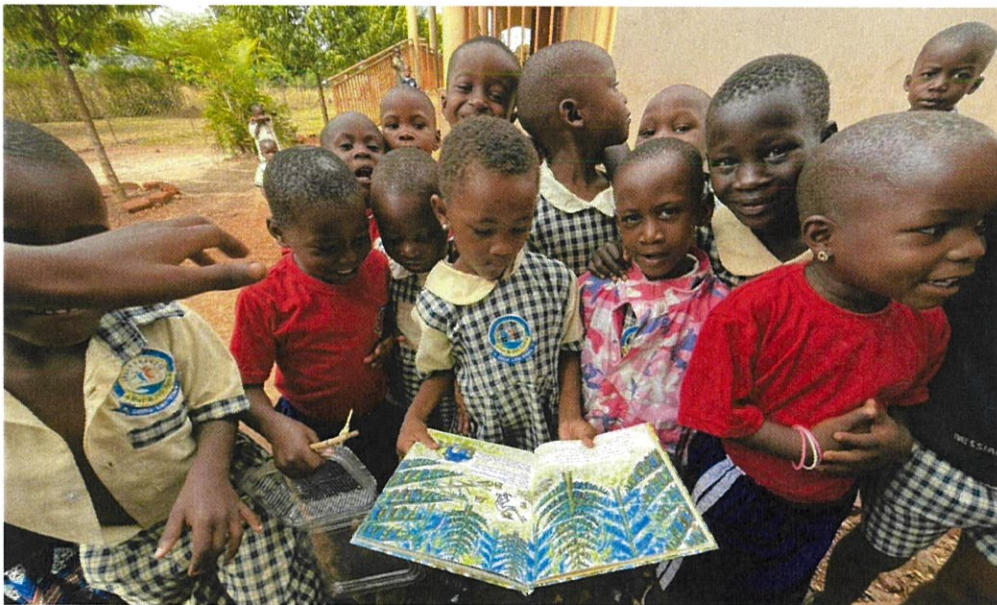


私の任地であるマシンディ県（上記画像のピンがあるところ）は、ウガンダ中西部に位置し、首都カンパラから約 **214** キロメートルの場所にあります。この地域はかつて「ブニョロ・キタラ王国」が建てられ、統治していました。そのため、マシンディ県周辺ではニョロ族が多く住み、現地語はルニョロ語が話されます。現在も国王が代々引き継がれ、隣県のホイマ県に王宮があります。マシンディ県は、人気観光地「マーチソンフォールズ国立公園」への入口となる県です。多くの観光客が休憩などでマシンディ市内に立ち寄る機会が多く、短い時間で現地の生活に触れることができる、“ちょうどよい町”です。

配属先について

私の配属先である **Shines Children's Foundation** は、マシンディ県に拠点を置く認定 **NGO** です。本を寄贈させていただいたコミュニティスクール（幼稚園・小学校）の運営をはじめ、孤児の保護や農家・女性グループへの収入向上支援を実施し、子どもたちやその家族、地域の生活と発展を幅広い分野から支えています。市内から離れた村やコミュニティにて、マラリア予防のための蚊帳の配布や、環境啓発活動の一環としてマンゴーやアボカドの苗木を寄贈するなど、現地に根付いた活動を行っています。また、年に一度「メディカルキャンプ」というイベントを実施しています。市内の各医療施設と協力し、無償で診察や医薬品の処方を受けられる催しで、マシンディ県内各地から参加する皆さんに医療へアクセスする機会を提供しています。

私は現在、コミュニティスクールにおける情操教育で体育や図工の授業を担当しています。また、図書館機能の向上も担当しています。学校には図書室が設置されているものの、蔵書数は全校児童数に対して非常に少なく、図書室の利用者もまだまだ少ない状況でした。そこで、コンテンツの向上・外国（日本）への興味関心を高める・図書室の魅力づくりの3点を目的に、今回日本語の絵本を希望いたしました。今後も子どもたちのためにより良い図書室づくりに努め、学びに繋がる興味関心を得る“きっかけ”を沢山提供したいと思います。



翻訳は全て日本語を隠さないように行いました。

シャインズ・チルドレンズ・ファンデーション本部の職員です。



SHINES CHILDREN'S FOUNDATION

P.O. BOX 97, Masindi
Plot no. 59, Muganwa Road Kijungu
Masindi, UGANDA

Dear Kanagawa University Cooperation with Society

Certificate of Receipt
for
"Smile for All in the World" Program

This is to certify that I received donated items as below.

- Picture book どうながのプレツェル
- Picture book ランパンパン
- Picture book パンのかけらとちいさなあくま
- Picture book ほく しんかんせんにのったんだ
- Picture book まさかさかさま

We will fully make use of the donated items in our activity. Thank you for your cooperation and best wishes for your continued good health and happiness.

Date: 20/Mar/2025

(Signature)

Denis Kiirya,
Executive Director, Shines Children's Foundation



SHINES CHILDREN'S FOUNDATION

P.O. BOX 97, Masindi
Plot no. 59, Muganwa Road Kijungu
Masindi, UGANDA

神奈川県 社会連携センター 本の架け橋プロジェクト 御中

「世界の笑顔のために」プログラム 寄贈品受領証明書

下記の通り、寄贈品を正に頂戴いたしました。

- 絵本 どうながのプレツェル
- 絵本 ランパンパン
- 絵本 パンのかけらとちいさなあくま
- 絵本 ぼく しんかんせんにのったんだ
- 絵本 まさかさかさま

この度は絵本を寄贈いただき、誠にありがとうございました。頂戴いたしました絵本は、運営先の小学校にて大切に使用させていただきます。重ねてお礼申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

受領日: 2025年3月20日

(署名)

シャインズ・チルドレンズ・ファンデーション
代表 デニス・キリヤ



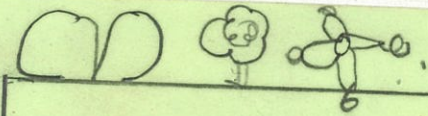
神奈川県大学 社会連携センター



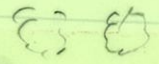
本の架け橋プロジェクトの皆様へ

神奈川県大学 社会連携センター
本の架け橋プロジェクトの皆様

はじめまして。JICA海外協力隊2023年度
4次隊ウガンダ派遣の平沼里穂子と申し
ます。この度は絵本を寄付いただき、誠に
ありがとうございます。寄贈先のシャインズ・
キドレンズ・ファンデーション小学校の6年生と
7年生からお礼のお手紙です。



ARIGATO



PRIMARY SIX CLASS

KWIKIRIZA HOLY
JANE.